

「しがの農×福ネットワーク」先進事例視察会

「しがの農×福ネットワーク」では、農福連携の推進に向けた課題解決や改善に役立てるための情報収集や参加者同士の交流を図ることを目的とした先進事例視察会を開催しており、今年度は、奈良県にある「社会福祉法人青葉仁会」（以下、「青葉仁会」）へ伺いました。

青葉仁会は、農業のほか、加工業、販売業などの様々な業種の作業を通じて障がい者の成長や経済的自立を支援するとともに、過疎化が進む地域においてレストラン、観光農園の運営など多角的な事業を展開し、地域の発展に大きく貢献をされています。また、これら活動が評価され「ノウフク・アワード 2023」でグランプリを受賞されています。

● 視察会の様子について

当日は、青葉仁会の事業や取組についてのオリエンテーションから始まり、直営のカフェ・レストラン「ハーブクラブ」にて昼食ののち、せっけんやクラフト品などの製造・販売を行っている「満天ひろば」や、廃校となった小学校跡地をオリジナルカレーなどのレトルト食品の製造や地元農産物の加工の工場として活用している「RIKUGOの森」を見学しました。また、視察会の最後には青葉仁会と参加者との意見交換会を実施し、活発な意見交換が行われました。

これらすべての行程において、青葉仁会理事長の榊原氏に同行いただき、榊原氏の熱い思いを直接伺う大変貴重な機会となりました。

青葉仁会では、障がい者が生き生きとした人生を送れるようその人にあった仕事を提供されており、見学した施設全てで仕事に励む障がい者の方々の姿を見ることができました。また、販売している商品は青葉仁会で働く職員が発案したものが多くあり、職員もやりがいを持つことができる取組となっていました。

さらに農福連携を持続可能な取組とするために、農作物のフェアトレードや農作物の加工による付加価値向上などが行われているほか、耕作放棄地の観光農園化やカフェ・レストラン運営による観光客の呼び込み、廃校の活用など農福連携を通じた過疎化した地域の再生・活性化が行われていました。視察中に障がい者の方が自然と地域に溶け込んでいらっしゃる様子が多く見られ、地域と共生ができていたことが印象的でした。

今回の視察会では農福連携は大きな可能性を秘めた取組であると改めて実感することができ、参加された方からも前向きな感想を多くいただいた有意義な視察会となりました。



<直営カフェ見学の様子>



<意見交換会の様子>

● 参加者の皆さんからの感想

- ・ B型事業所だけでなく、障害福祉の無限に広がる可能性に気づくことが出来ました。
- ・ 施設を利用する障がい者の生活の質の向上や満足度のアップ、さらには地域の活性化が感じとれました。また、海外や企業とのつながりもあり、持続可能な社会福祉法人だと思いました。
- ・ 6次産業化や体験サービスなど農業で稼ぐ仕組みが凝縮されていて大変参考になりました。
- ・ 農福連携に取り組んでいるというより、必要なことをやっていたら農福連携の形になっておられ、そこにストーリー性が生まれ、地域住民から障がい者が地域の宝と呼ばれるまでになったのだと感じました。

～滋賀県みらいの農業振興課からのお知らせ～

「しがの農×福ネットワーク」の会員（個人・団体等）を募集しています！

「しがの農×福ネットワーク」は、「農福連携」に関心のある個人、グループ、民間団体、企業、大学、研究機関、行政機関などが、それぞれが持つ農福連携に関する情報の発信や啓発、意見交換などを行うことにより、滋賀の農福連携の取組を推進するネットワークです。

御賛同いただける場合は、下記の県 HP 掲載の参加申込書に必要事項を記入いただき、E-mail、FAX等にてみらいの農業振興課まで送付ください。多くのみなさまの御参加をお待ちしております。

「しがの農×福ネットワーク」 滋賀県ホームページ（滋賀県HPへリンク）

URL: <http://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/nougyou/seisangizyutsu/304789.html>



<お問い合わせ先>

● みらいの農業振興課

住所：〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号

TEL：077-528-3847

FAX：077-528-4853

Mail：noufuku@pref.shiga.lg.jp

発行：滋賀県農政水産部みらいの農業振興課 〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1

TEL：077-528-3847 E-mail:noufuku@pref.shiga.lg.jp